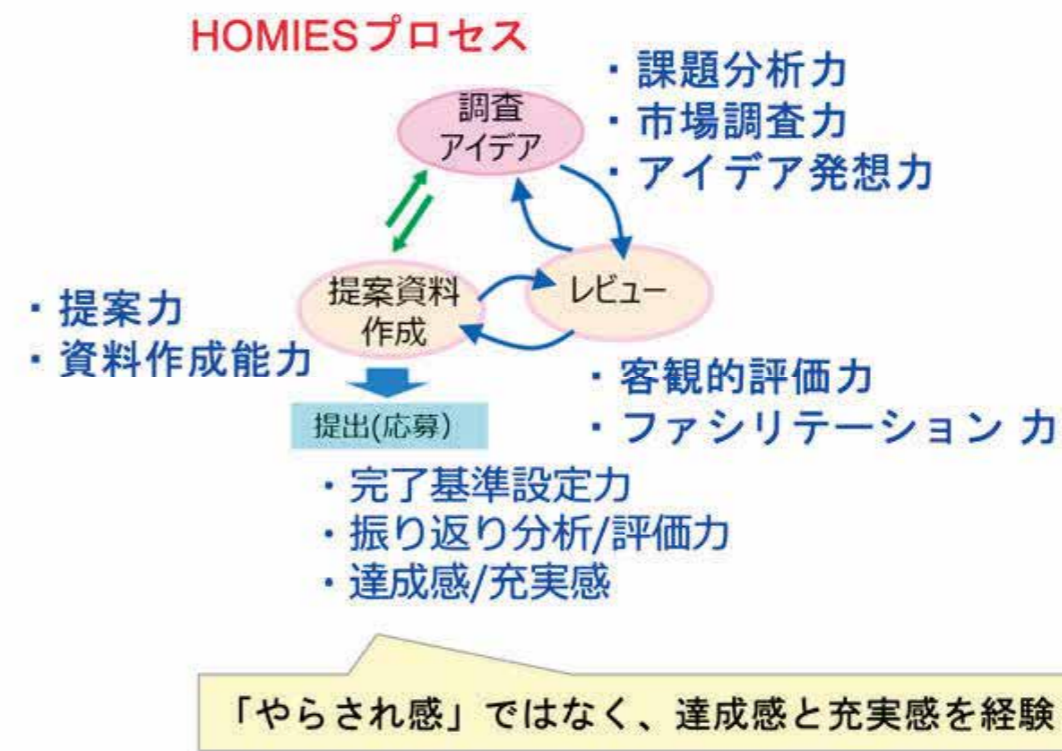
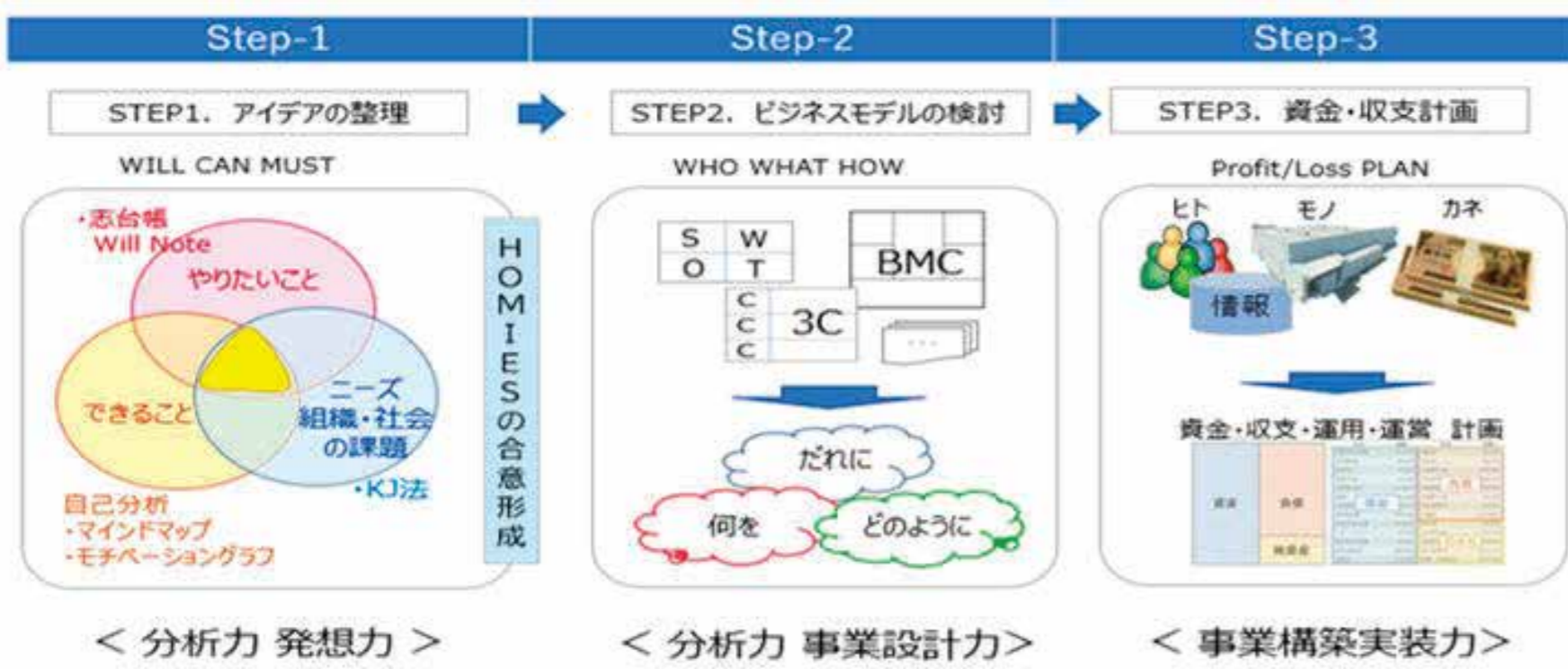


創業の総合力とコンピテンシーを獲得するための活動報告

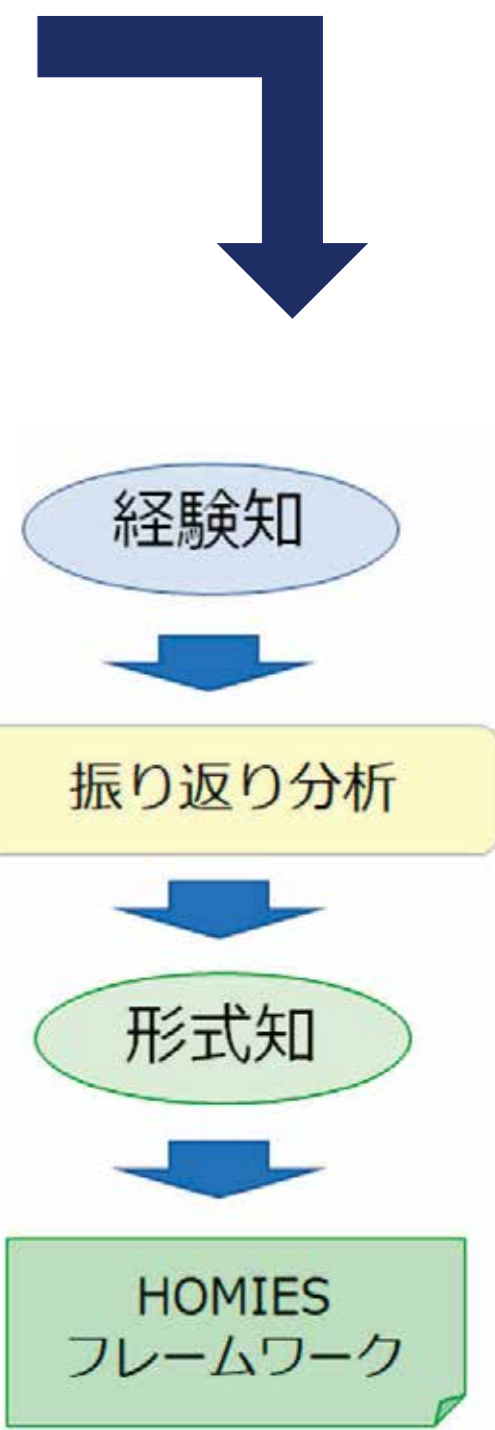
事業企画から構築までの創業の総合力をデザインする

メインプロジェクト

企画から事業構築計画までの工程を全てHOMIESで行い、**創業の総合力**を身につける。
創業の総合力を身につける3ステップ



「やらされ感」ではなく、達成感と充実感を体験



- STEP1販促コンペ参加
組織の持つ問題を見極めて適切なアプローチをするための**アイデア発想・提案スキル**の一層の向上に取り組むことに決定
- STEP2地域イノベータ留学参加
地域イノベータ留学に参加する目的
課題意識のある経営者より、技術やノウハウ、**課題発見力**を吸収し、**解決力**を**実践**で養う
- STEP3資金・収支計画
外部評価として「多摩信用金庫」「TOKYO創業ステーション」への事業企画書提案

創業計画書

	事業構想	コンセプト	動機	ターゲット	強み/弱み	競合情報	資金計画	収支計画
多摩信用金庫	○	○	○	○	○	X	X	X
TOKYO創業ステーション	○	○	○	○	○	○	○	○

○：対応 X：未対応

サブプロジェクト

地域から「新たな仕事」を創り出すための手法と感性を磨く、短期実践プログラム **オンライン**

FIELDWORK フィールドワーク
→10-15 地域で事業を視察・交流
→現場に暮らす人達と交流

WORKSHOP 議論＆ワークショップ
→課題分析についての議論
→事業計画ワークショップ
→地域の起業家、メンターのアドバイス

4ヶ月

地域課題の把握から分析、解決アイデアの立案、提案といった一連の流れを、実践的に学びます。



=みかん=

「ふるごみかんビュレ」ロードマップ

社会背景：海外での日本食への関心、健康志向の増加、企業向け食料(C2B)

課題：廃棄されるみかんの多さ(約9割!)、特に、生産過程におけるフードロス

解決策：農業を除去し皮さえも食用にする加工技術を確立した企業と組み、toC向けに販売するマーケティング戦略を考案した。

みかん産地の抱える課題
・廃棄となるみかんの多さ(約9割!)
・特に、生産過程におけるフードロス
農業を除去し皮さえも食用にする加工技術を確立した企業と組み、toC向けに販売するマーケティング戦略を考案した。

=旅館=

旅行に関するアンケート 実施結果

お題に対する提案
ブランドたき案検討の方向性(大前提)

●旅行の目的や滞在スタイルは、**旅行目的別の提案**を行う
●ターゲットは年齢層を主とし、**主に40代(40代以下)**の層に絞る

●以下に示した案において、必ずしも実現可能とは限らない
・ 地域活性化に貢献する「ふるごみかん」の活用
・ 地域産品の活用(加工品、土産物など)
・ 地域産品の活用(加工品、土産物など)
・ 地域産品の活用(加工品、土産物など)

●社会的課題(1-7月)の解決策としてまとめた。

老舗旅館が抱える社会的課題
・顧客ニーズの変化への対応
・ウィズコロナにおける戦略立案
現地訪問で課題感を把握し、新規顧客層の開拓を行う方策を検討した。アンケート調査で客観的評価を得、提案内容としてまとめた。

=盆栽=

社会で起こる変化・ビジョン仮説

目的：盆栽産業の活性化、高齢化、技術伝承、市場の縮小などがある。社会課題に対して目的、ゴールを設定し、段階的に進めることで最終的には盆栽産業が抱える社会課題の解決につながるアプローチをとった。

盆栽産業が抱える社会的課題
・有識者の高齢化・技術伝承
・市場の縮小などがある。
社会課題に対して目的、ゴールを設定し、段階的に進めることで最終的には盆栽産業が抱える社会課題の解決につながるアプローチをとった。

活動を通しての気づき・学び

- ・地域の課題解決に向けては肌身をもって課題を知る事から新たなアイデア発想、気づきを得ることができる。
- ・情報技術を用いたイノベティブな発想は個々の内発的動機、これまでの経験に帰着する傾向にある。
- ・商材をどう使うかより課題解決型のアプローチで発想することがイノベーションへの近道である。
- ・創業に必要な情報、アイデア、課題などは緩いつながりを介して人材のハブとなっている人に集まり、そこから更なる要素が加わり、変化し広がっていく。
- ・アイデアの可能性・ビジネスの妥当性を様々な角度で検証することで成功する確度が高くなる。